

第108回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当座預金	別段預金	受取手形
売掛	金	売買目的有価証券	未収入金	未決算
建物		備品	支払手形	買掛金
未払	金	建物減価償却累計額	資本金	株式申込証拠金
株式払込剰余金		利益準備金	別途積立金	繰越利益剰余金
有価証券売却益		仕入	支払運賃	減価償却費
火災損失				

1. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
2. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
3. 上杉商店は、火災により倉庫（取得原価 ¥ 5,000,000、焼失時の減価償却累計額 ¥ 2,000,000、記帳方法は間接法）および、保管中の商品（仕入原価 ¥ 1,000,000）を焼失したが、これらの資産には保険金 ¥ 3,000,000の火災保険契約を締結していたので、直ちに保険会社へ保険金の請求をした。なお、当社は三分法により商品の売買を記帳している。
4. 島津株式会社は、新株 400 株（1 株の払込金額 ¥ 25,000）を発行し、払込期日までに申込証拠金の全額が払い込まれ、別段預金に預け入れていたが、本日（払込期日）、申込証拠金を資本金勘定へ振り替えるとともに、別段預金を当座預金に預け替えた。なお、資本金には会社法規定の最低額を組み入れる。
5. 龍造寺株式会社は、株主総会において、別途積立金 ¥ 2,000,000 を減少させて、繰越利益剰余金の借方残高 ¥ 2,100,000 をてん補し、残額を次期へ繰り越すことを決定した。